



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成29年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成29年2月14日(火)

事業名	①防災ハンドブック等の作成 ②福祉避難所の充実と体制強化	予算(案)の概要 ①96 ページ ②94
予算額	①6,736千円(新規) (前年度予算額 ① 0円 ② 6,271千円)	② 6,299千円(新規・拡充)
取材先	①危機管理担当部地域防災担当副参事 安藤(電話 03-5273-3874) ②福祉部地域福祉課長 齊藤(電話 03-5273-4170)	

1 防災ハンドブック等の作成

予算額6,736千円

◆ 事業概要 ◆

(1) 防災ハンドブックの作成 NEW!!

首都直下地震の切迫性が高まる中、区民への防災思想の普及啓発や防災・減災へ向けた行動を促すことが区の喫緊の課題となっています。このことから、これまでの『災害に備えて』の内容をより充実させ、ハード・ソフト両面から区の防災・減災対策を包括した、**防災ハンドブック**を作成します。

(2) 地域別防災マップの作成 NEW!!

区民の防災基礎知識の普及啓発を図るために、地域ごとに、避難場所、避難所、防災施設、並びに発災時の心得や避難行動の方法等を記載した**防災マップ**を作成し、広く区民へ配布します。

現行



【主な内容】
・防災に関する基礎知識
・災害時の行動
・応急手当の方法
・危機管理課の防災事業紹介
・B5版/32頁

作成後

防災ハンドブック(イメージ)



【主な内容】
・防災に関する基礎知識
・災害時の行動
・応急手当の方法
・区の防災対策(ソフト面・ハード面)
・データ集
・A4版/32頁

25,000部配付

【内訳】
・防災区民組織へ郵送 約1,000部
・窓口配付 合計 24,000部
本庁舎10,000部、
各特別出張所1,000部(合計10,000部)
防災センター約4,000部

地域別防災マップ(イメージ)



表面



裏面

【主な内容】
(表面)
・避難場所、避難所、防災施設等
(裏面)
・防災の基礎知識
・地震が発生した時の心得
・災害時の避難行動
・非常持ち出し袋
・A3版(両面) など

2-1 福祉避難所の運営マニュアルの策定 予算額3,868千円

◆ 事業概要 ◆

災害時における高齢者や障害者等の要配慮者が、安全・安心に避難できるように、区職員及び施設管理者向けの**福祉避難所の運営マニュアル**を策定し、要配慮者避難支援の実効性を高め、円滑な福祉避難所の運営を図ります。

福祉避難所とは、高齢者や障害者等、一般的な避難所(学校等)での生活に支障を来たす方のための配慮がされた避難所(高齢者施設等)です。

(1) 要配慮者の個別計画づくりの推進 NEW!!

災害時要援護者名簿の中から、地域別・配慮事項別に100名程度の要配慮者を抽出し、訪問調査等により必要な支援や介助内容などを網羅した個別情報のサンプルをデータ化します。このデータを活用し、要配慮者が個々に必要な支援等を簡易に記入できるセルフプラン用のフレームを公開し、個別計画の自助・共助による作成を促進します。

(2) 福祉避難所の運営マニュアルの策定 NEW!!

個別情報データを分析して、要配慮者の受入れ体制や必要な備蓄物資、対応方法をまとめた区職員及び施設管理者向けの福祉避難所の運営マニュアルを策定します。
また、福祉避難所の運営マニュアルを活用し、避難所及び福祉避難所等との連携による避難所開設・運営訓練を実施します。

2-2 福祉避難所の充実と体制強化 予算額2,431千円

◆ 事業概要 ◆

(1) 民間事業者との協定締結

災害時に区内民間施設を福祉避難所として開設できるよう、区内民間事業者と協定を締結します。

(2) 備蓄物資の配備

新たに福祉避難所に指定された施設について、必要な備蓄物資を配備します。

(3) 福祉避難所開設・運営訓練の実施

防災無線等を使用し、区災害対策本部、避難所及び福祉避難所等が連携した避難所開設・運営訓練を実施します。